

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区木場2-23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
http://www.n-mokuzai.com/
e-mail info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2016
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布
は、著作権の侵害にあたり違法です。

記事の森から
世界が見える

木材建材ワイフリー
Japan Lumber Reports

木造専用乾式遮音二重床を開発

矢吹の災害公営住宅で採用

RC並みの遮音性能確保へ

スタジオ・クハラ・ヤギ、MID研究所、ミサワホーム総研、淡路技建、KUS一級建築士事務所は、木造の在来床組工法に乾式遮音二重床を組み合わせて重量床衝撃音Lr160、軽量床衝撃音Lr155とそれぞれ重量床衝撃音13dB、軽量床衝撃音10dB程度低減できる工法を開発した。「複雑な床の組み合わせでなく木造集合住宅でRCの賃貸マンション並みの床遮音性能にできる」(スタジオ・クハラ・ヤギ)という。

同工法は今年、福島県矢吹町の災害公営住宅として計画された。木造共同住宅の問題として、上下階の遮音性能が指摘されていた。これらは一般的な木造在来工法によるもので、従来の弱点を補うため今回、乾式遮音二重床を開発した。

梁の天端に構造用合板24mmを敷いた通常の床の上に石膏ボード12mm・5mmを敷き、その上に乾式遮音二重床を施工、さらに台座としてパーティクルボード15mm厚40mm角を載せ、その上にパーティクルボード20mm、遮音シート8mm、硬質石膏ボード15mm、フローリング12mmを施工する。

天井側にも石膏ボード12mm・5mmを二重張りする仕様で重量床衝撃音Lr160の性能を確保した。

この床仕様についての特許を出願中。乾式での部材の組み合わせでRC造賃貸マンション並みの床遮音性能が確保できることになれば、木造共同住宅の需要拡大にもつながると期待されている。

制震VAXと高耐震の2X4ビル

サステナブル先導事業に採択

三井ホームコンポーネント

三井ホームコンポーネント(東京都、渡部一廣社長)とアサミホーム(横浜市、蒲谷清一社長)は、東京都内の新築プロジェクトで国土交通省の「サステナブル建築物先導事業」に採択された。既存のRC4階建てを、1階がRCで2〜5階が1時間耐火の木造2X4工法の混構造に建て替える案件だ。木造耐火構造4層としては初の制震装置「VAX」や、高耐力壁の「ミッドプライオール」、高強度金物「タイダウンシステム」を採用。制震で地震の揺れを低減するとともに高い耐震性も実現し、5階のスタッドには国産杉も使用する。

プロジェクト名「各共同住宅で、延べ床面積 車庫とし、2階は診療室、オーナーの住居となし、意匠設計と施工はアサミホーム。判断された。



パリの街に建ち並ぶビルの外観をイメージ

資材供給で三井ホームコンポーネントが協力し、意匠設計と施工はアサミホーム。判断された。

集成材
FSC SGE C121389 お問い合わせ下さい
SGEC/31-31107
「緑の環境」
TSC株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL 0438-37-0206 FAX 0438-37-2349
ホームページ http://www.syusei-tsc.com

木商社
株式会社 内山商會
本社 東京都世田谷区上北沢5-43-11
TEL(03)3301-9675

- #### 主な記事
- ▽3面 広葉樹商況 丸太の供給減は続く
 - ▽4面 上信越版 リビルディングセンタージャパ
 - ▽5面 特集 丸太4市場合同大紀州材展
 - ▽6面 建築・住設 ショールームの機能を探る ケ
 - ▽7面 局 森林総合研究所森林整備センター九州整備

杉々平 角
やみぞパワー
JAS機械等級
E70・E90
邸別出荷・平均納期4日
二宮木材株式会社
本社
〒329-2746 栃木県那須塩原市四区町741-5
TEL.0287-36-0056 FAX.0287-36-1129
http://www.ninomiya-mokuzai.com/

三井ホームが開発した制震装置「VAX」は、2X4工法はたて枠が45mm間隔で設計されているが、制震装置を機能させるには幅置を機能させるには幅800mm程度が必要だ。そのため、一般的な制震装置では制震壁と耐力壁は両立できないという課題があった。そこで910mm幅の枠組み間に施工するスタッドに構造上許容できるスリットを設け、ここにVAXの鋼板プレートを貫通させて左右の制震装置をつなぎ一体化させた。制震壁の両立は2X4工法では唯一のものとなり、2015年に

はグッドデザイン賞も受賞した。また、ミッドプライオールシステムは2X4工法用の一般的な建築物で初採用。耐力壁と両立できるのが特徴で、一般的な2X4に組み合わせることで地震による2階床の揺れ幅を最大75%低減。2X4工法はたて枠が45mm間隔で設計されているが、制震装置を機能させるには幅置を機能させるには幅800mm程度が必要だ。そのため、一般的な制震装置では制震壁と耐力壁は両立できないという課題があった。そこで910mm幅の枠組み間に施工するスタッドに構造上許容できるスリットを設け、ここにVAXの鋼板プレートを貫通させて左右の制震装置をつなぎ一体化させた。制震壁の両立は2X4工法では唯一のものとなり、2015年に



ひとりの商人、無数の使命

伊藤忠商事株式会社

生活資材第一部

伊藤忠建材株式会社
大建工業株式会社
CIPA Lumber Co.,Ltd
Pacific Woodtech Corporation
South Wood Export Limited
P.T. Aneka Bumi Pratama
Rubbernet (Asia) Pte.Ltd.



www.itochu.co.jp/